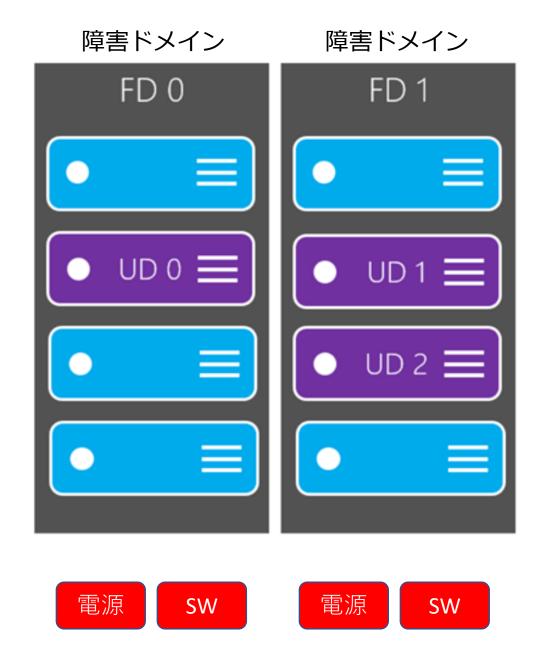
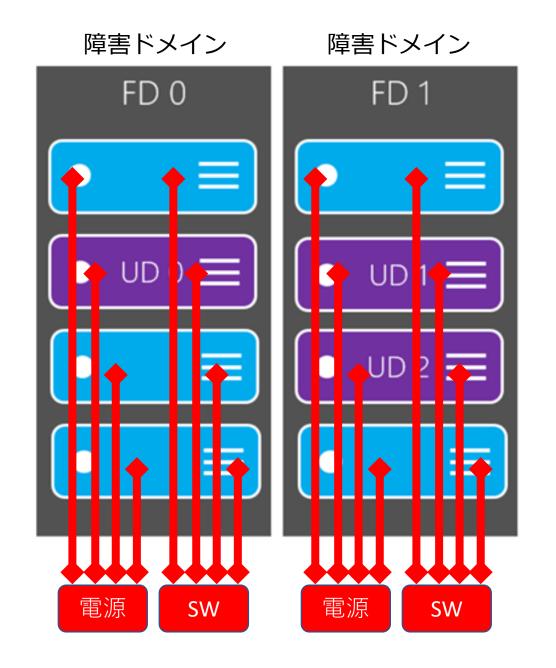
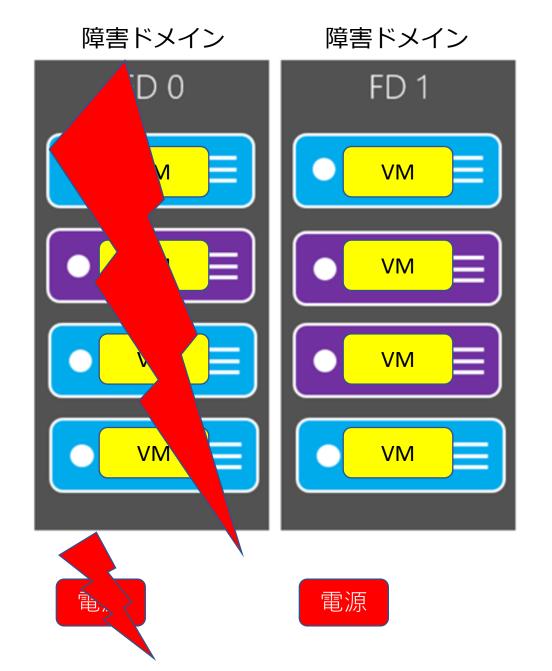
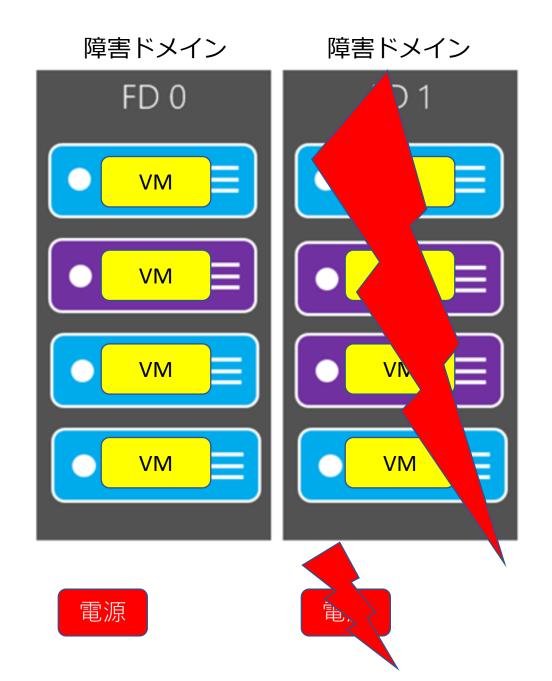
# 可用性セット

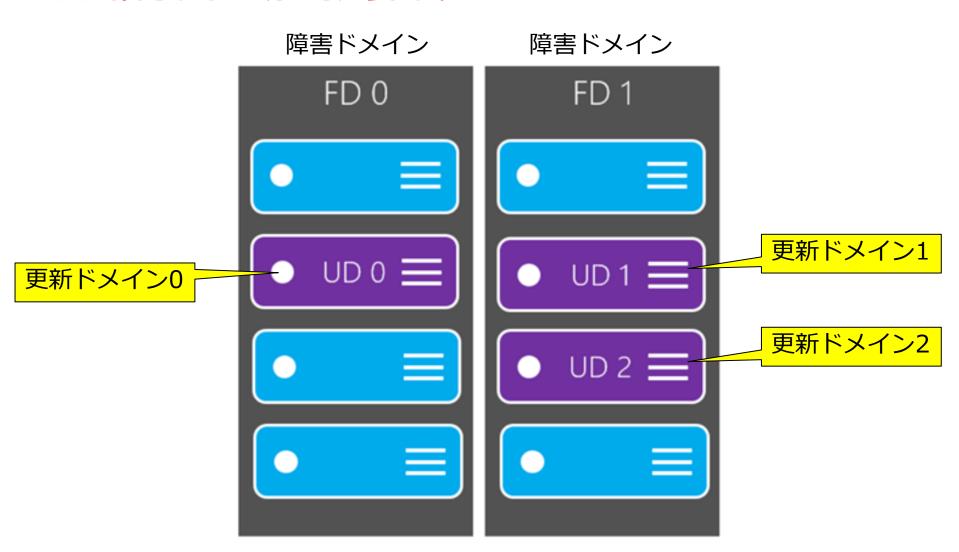


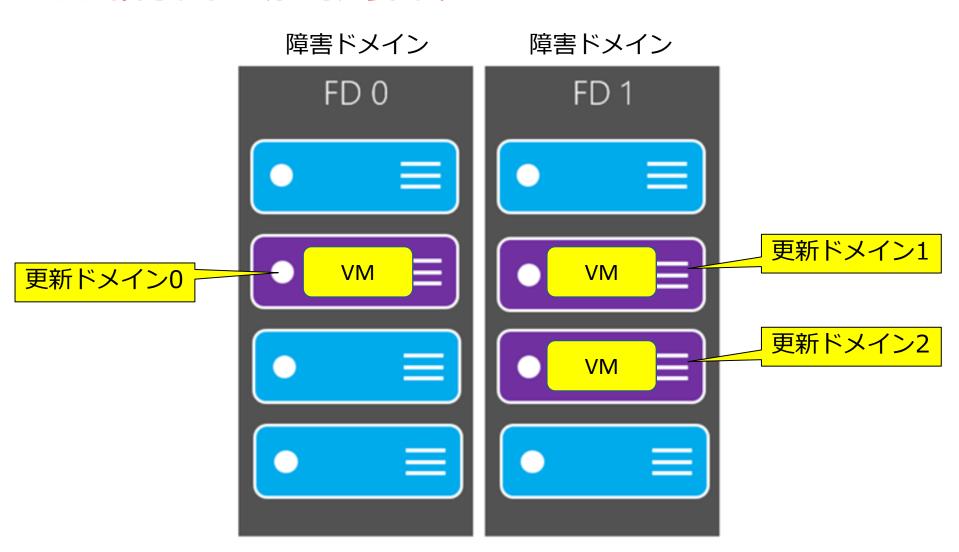


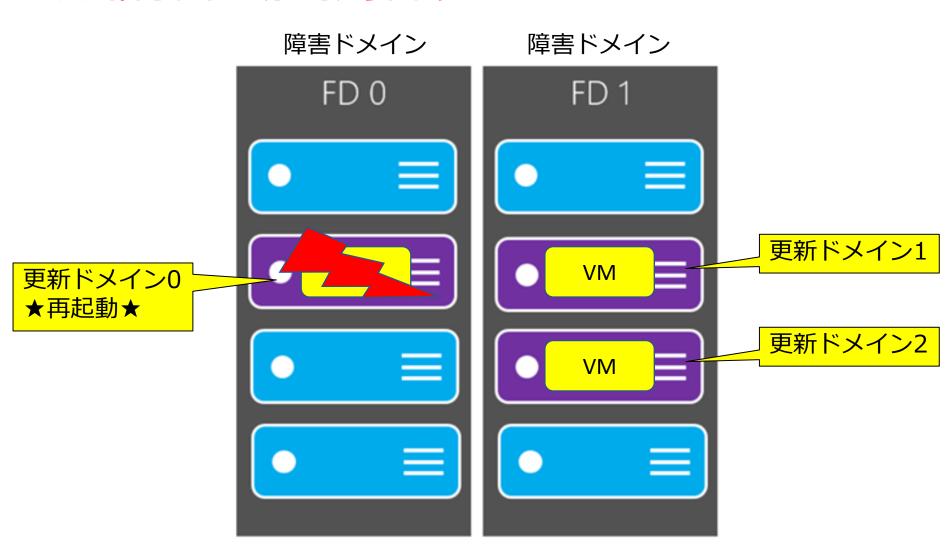
障害ドメイン 障害ドメイン FD 0 FD<sub>1</sub> VM VM VM VM VM VM VM VM

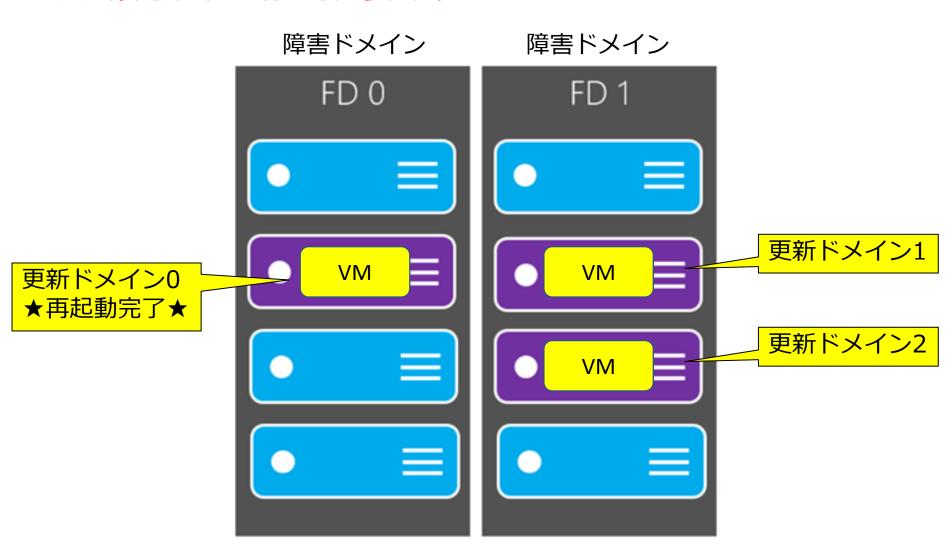


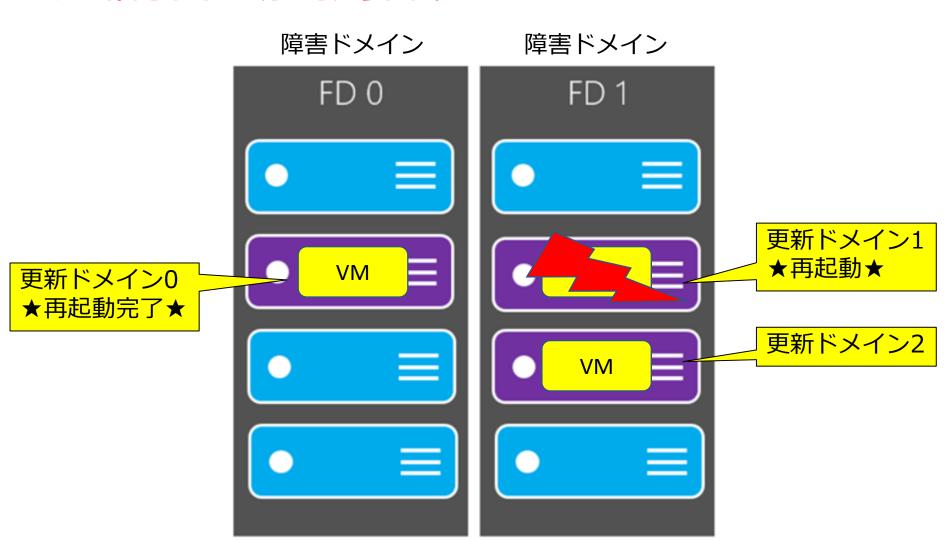


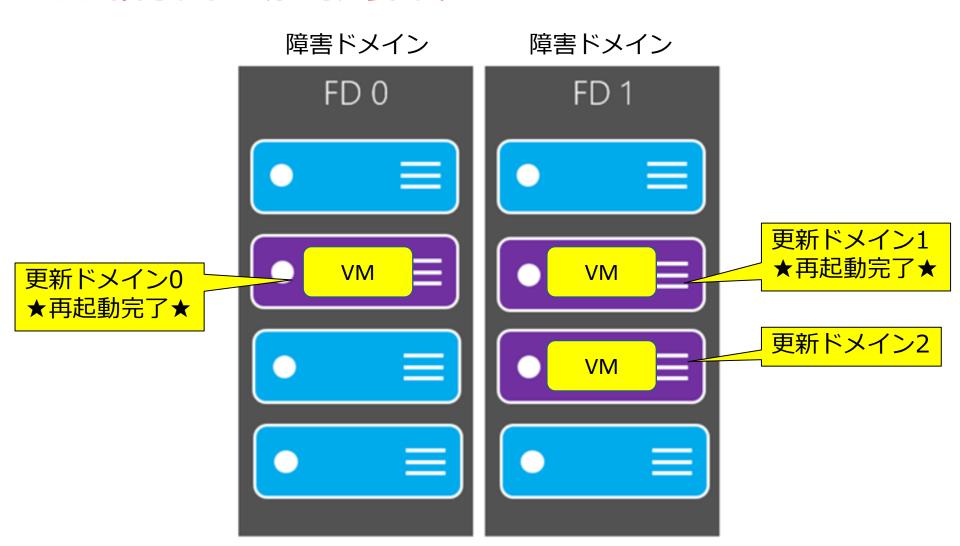


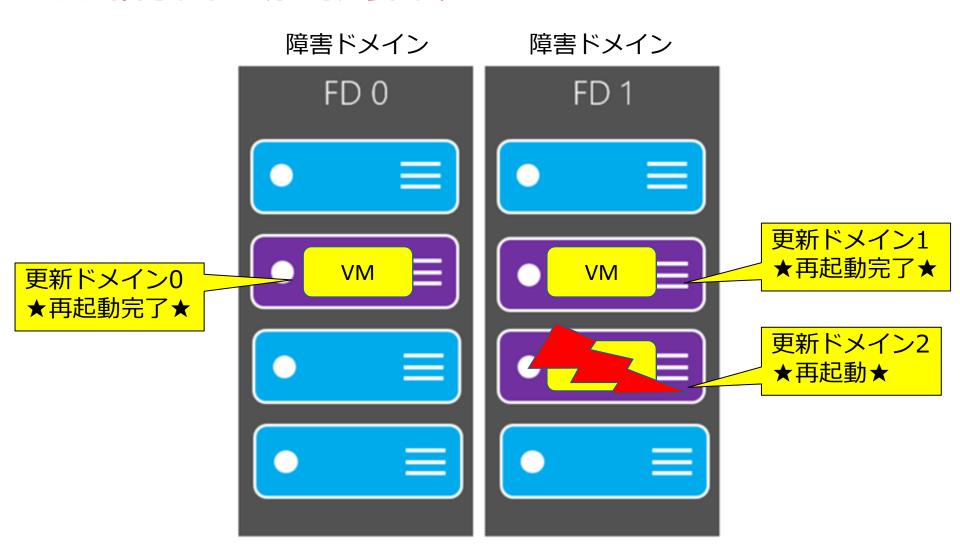


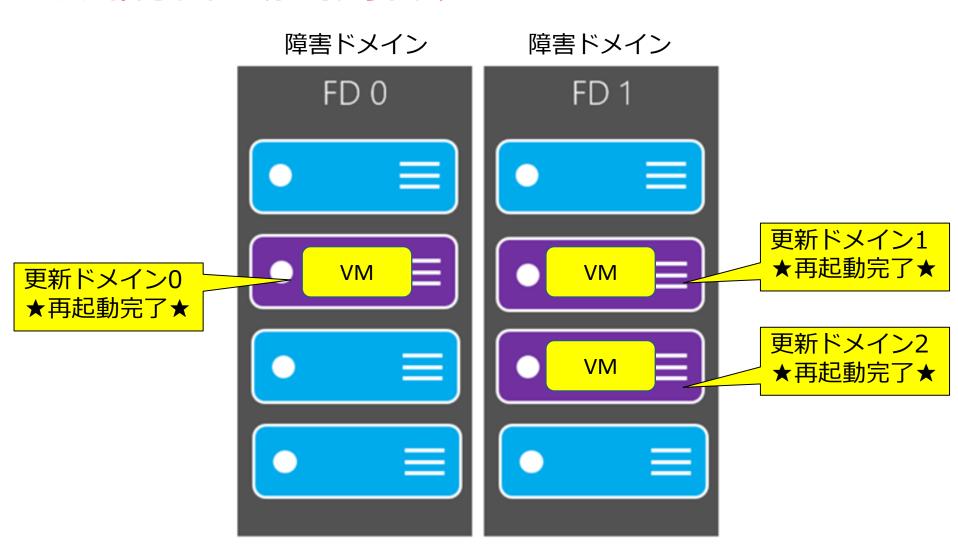






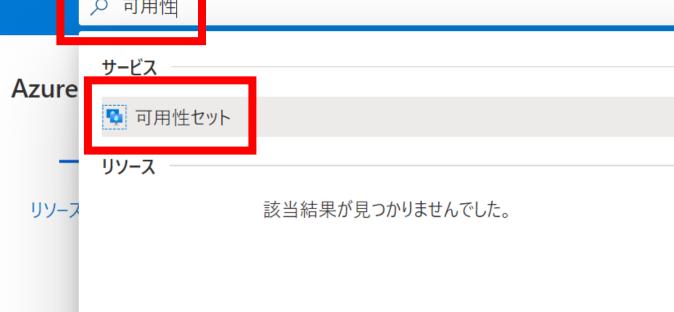






#### **Microsoft Azure**

可用性



### 最近の

名前



lbrg

すべてのサブスクリプションを検索しています。変更

#### ホーム >

## 可用性セット ☆

hiryamada





|≡≡ 列の編集 💍 更新 ⇄ プレビューを試す │ 🐶 タグの割り当て



サブスクリプション: Visual Studio Enterprise サブスクリプション – サブスクリプションが表示されていませんか? ディレクトリとサブス

名前でフィルター...

すべてのリソース グループ

0項目

名前 ↑↓

#### 基本

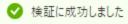
詳細 タグ 確認および作成

可用性セットは、VM リソースの配置時に互いを分離する論理的なグループ化機能です。Azure では、可用性セット内に配置した VM が、複数の物理サーバー、コンピューティング ラック、ストレージ ユニット、ネットワーク スイッチで実行されるようにします。ハードウェアまたはソフトウェアの障害が発生した場合は、VM のサブセットのみが影響を受け、全体的なソリューションは動作可能のままです。可用性セットは、信頼性の高いクラウド ソリューションを構築するために必要です。 可用性セットの詳細情報。

#### プロジェクトの詳細

デプロイされているリソースとコストを管理するサブスクリプションを選択します。フォルダーのようなリソース グループを使用して、すべてのリソースを整理し、管理します。





#### 基本 詳細 タグ 確認および作成

#### 基本

サブスクリプション Visual Studio Enterprise サブスクリプション

リソース グループ demorg

地域 東日本

名前 aset

障害ドメイン数 2

更新ドメインの数 5

マネージド ディスクを使用 はい (配置)

詳細

近接配置グループ なし

タグ

(なし)

## このような「可用性セット」ができる

障害ドメイン0 障害ドメイン1 FD 0 FD 1 UD 0 UD 0 UD 1 UD 1 UD 2 UD 2 UD 3 UD3 UD 4 UD 4

この可用性セット(障害ドメイン: 2, 更新ドメイン: 5) に、 VMを8個追加してみる

```
$ az vm create ¥
--resource-group demorg ¥
--availability-set aset ¥
--image UbuntuLTS ¥
--name vm1 ¥
--no-wait ¥
--generate-ssh-keys
```

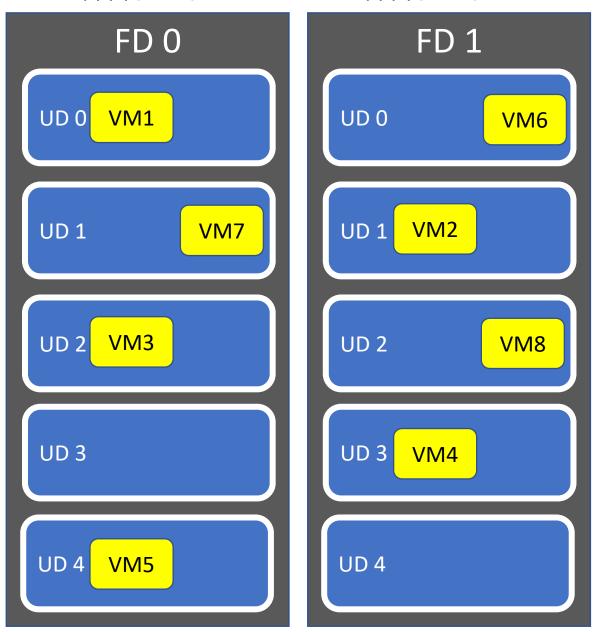
※ VM名を vm1 ~ vm8 と変えながら繰り返し実行

## 可用性セット「aset」の仮想マシンを表示してみると・・・

🔎 仮想マシンの検索								
名前	$\uparrow_{\downarrow}$	状態	$\uparrow_{\downarrow}$	コロケーションの状態↑↓	障害ドメイン	$\uparrow_{\downarrow}$	更新ドメイン	$\uparrow_{\downarrow}$
vm1		実行中			0		0	
vm2		実行中			1		1	
vm3		実行中			0		2	
vm4		実行中			1		3	
vm5		実行中			0		4	
vm6		実行中			1		0	
vm7		実行中			0		1	
vm8		実行中			1		2	

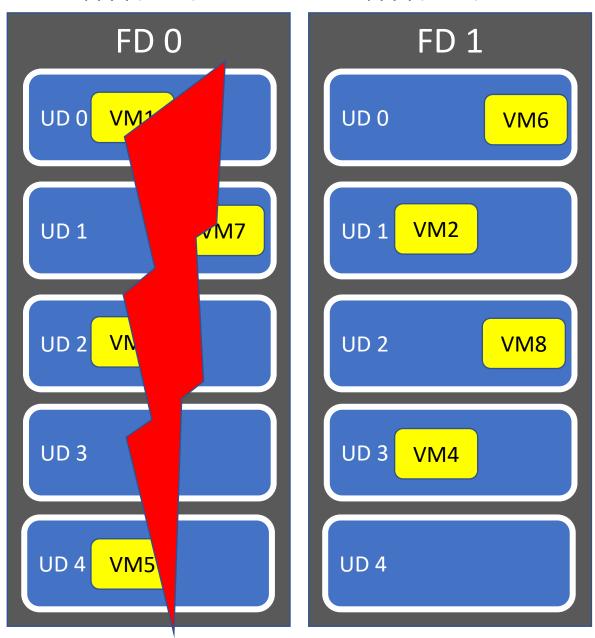
#### VMはこのように配置された

障害ドメイン0



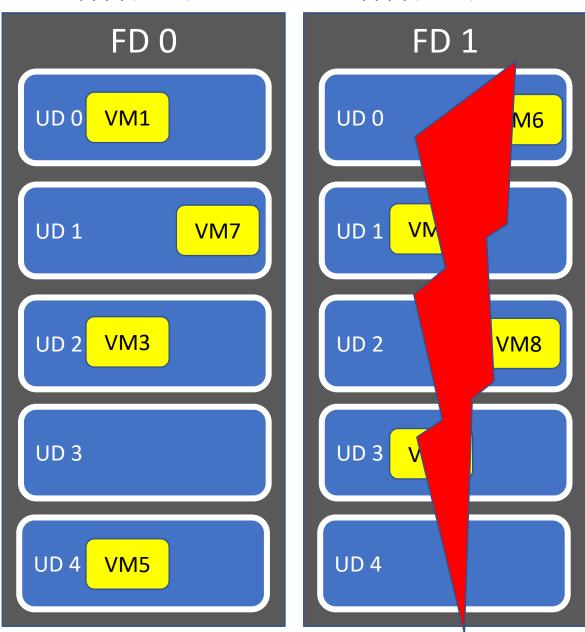
### 「障害ドメイン0」に障害が発生した場合

障害ドメイン0



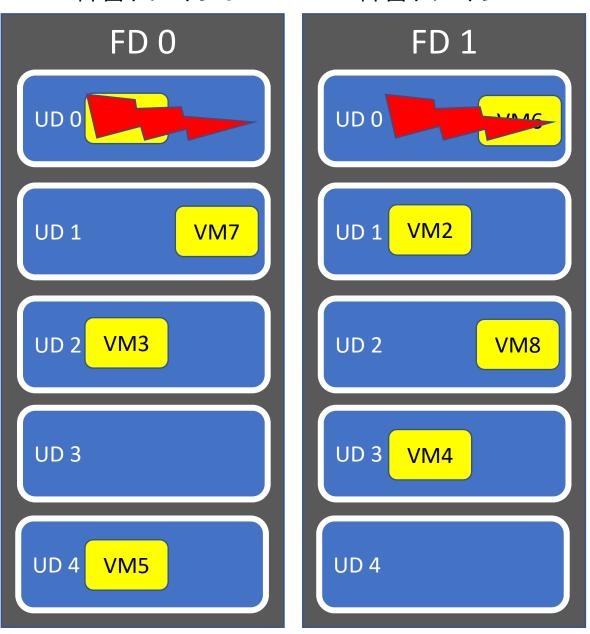
### 「障害ドメイン1」に障害が発生した場合

障害ドメイン0



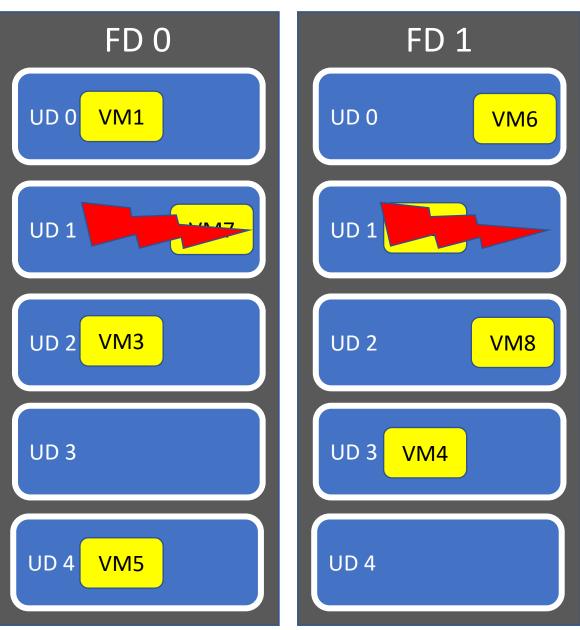
### 「更新ドメイン0」の再起動時

障害ドメイン0



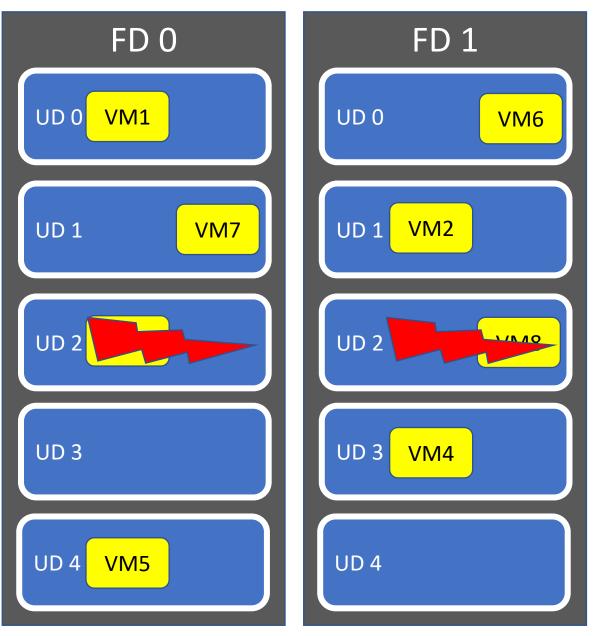
### 「更新ドメイン1」の再起動時

障害ドメイン0



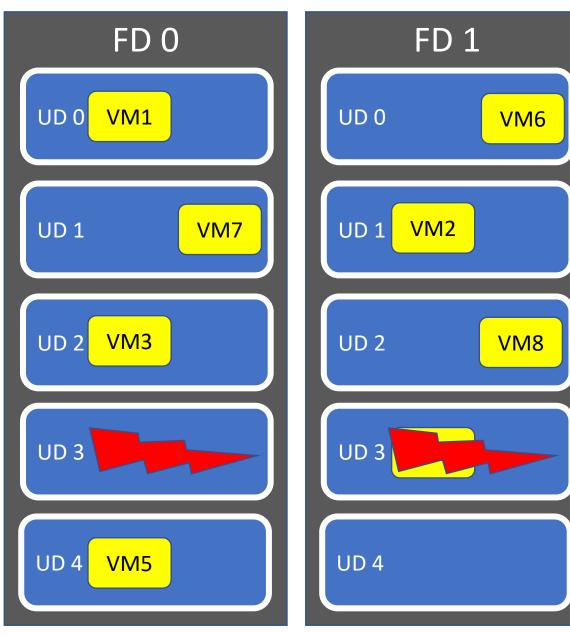
## 「更新ドメイン2」の再起動時

障害ドメイン0



## 「更新ドメイン3」の再起動時

障害ドメイン0



#### 「更新ドメイン4」の再起動時

障害ドメイン0

